



まぼろし はなむしろ さんかんえん いそぎみんきぎ じょうねつ
幻の花筵「錦莞筵」を生んだ磯崎眠亀、情熱の館

磯崎眠亀記念館は1874年眠亀が42歳のとき自宅と研究室を兼ねて建てられ、1988年に修築を行い多くの人々に見学していただけるように眠亀館として開館しました。

木造2階建ての町屋で屋根はむくり屋根と呼ばれる膨らんだ形になっており、屋内には研究用物資を2階へ運ぶためのスロープと滑車や、ひし形の棧の入った雨戸は回転と横滑りで開閉するととても珍しいものです。

2000年には建物が国の大切な宝として、「登録有形文化財」に指定され、館内では眠亀の類まれな錦莞筵に対する情熱と研究の成果を今に伝えています。

◆ **施設のおすすめ**

当館1階では、明治時代にイギリスやアメリカへ輸出され絶賛されたジャパンカーペットこと「錦莞筵」とその発明者「磯崎眠亀」にまつわる資料や織機(復元)などを展示し、眠亀の偉業を伝承しています。

その当時の苦労は雑誌「少女倶楽部」や大正2年の教科書に「岡山県の磯崎眠亀」として描かれています。

2階の研究室だった部屋には様々な錦莞筵を展示していますが、それらは作られてから100年以上、経過しているにも関わらず鮮やかな発色ときめの細かさを維持しており、海外の博覧会で称賛された技術の高さを感じることができます。

◆ **子どもたちへのメッセージ**

磯崎眠亀は錦莞筵の研究に、寝食を忘れるほど没頭しました。しかし失敗を重ね周囲から奇人扱いされてしまいました、それでも眠亀は決してくじけることなく4年間の研究の末錦莞筵と織機を開発することができました。

決して諦めることなく、自分の信じた道を突き進む大切さを眠亀の生き様から感じ取ってもらえればと思います。



いそぎみんきぎねんかん
磯崎眠亀記念館



かいてんじしつ
1階展示室



せんばいとつきよじょうれい しゃしん みぎがわ
専売特許条例(写真の右側)



はなむしろせうけいず
花筵設計図



かい かい
1階から2階へのスロープ



かいてんじしつ
2階展示室



さんかんえん ごくさいぼたんからじしもよう
錦莞筵:極彩牡丹唐獅子模様